

6つの優れた教育プログラムの紹介

福岡医療短期大学では、歯科衛生学科・保健福祉学科の2つの学科が連携して、卒業後に自立し社会人として活躍できるための「将来につながる教育」を行っています。ここでは、福岡医療短期大学の取り組みの中で、選定された事業について、紹介していきます。

1 2006年度 『特色ある大学教育支援プログラム』

この教育プログラムは、全国の大学、短期大学で実績をあげている教育方法や教育課程の工夫改善など、学生教育の質の向上への取組を更に発展させる取組の中から、文部科学省が特色ある優れたものを選び、サポートしていく教育事業であり、選ばれた取組を社会に広く情報提供し、高等教育全体の活性化を促していくものです。

採択された教育テーマ
学科間相互乗り入れ授業による口腔介護教育
取組期間 2006年度～2008年度
(補助金額 2,400万円)

取組の趣旨
本学では歯科衛生士ならびに介護福祉士を養成する学科を併設している特性を活かして、「口の健康からQOLの向上へ」をテーマに「要介護者の口腔ケア(口腔介護)」を実践できる歯科衛生士、介護福祉士の育成を目的に、2000年度より両学科の相互乗り入れ授業を始めました。本学はこの取組を通じて、要介護者の方が、関係者の連携のもとに、食べる機能に関する効果的な予防・ケア・リハビリが受けられる福祉社会づくりを目指しています。

2 2008年度 『社会人の学び直しニーズ対応教育推進プログラム』

この教育プログラムは、全国の大学、短期大学、高等専門学校における教育研究資源を活用し、社会人の学び直しニーズに対応した教育プログラムを展開する優れた取組を支援するため、「大学・専修学校等における再チャレンジ支援推進プラン」において、文部科学省が優れた取組を選び、「社会人の学び直しニーズ対応教育推進プログラム」として実施していくものです。

採択された教育テーマ
介護予防新時代における歯科衛生士の口腔機能向上支援をスキルアップする実践教育
取組期間 2008年度～2010年度
(補助金額 2,700万円)

取組の趣旨
本事業では、「口腔機能向上支援をスキルアップする実践教育」をテーマに歯科衛生士の国家資格を持ち就業中あるいは離職中の方を対象に、口腔介護及び口腔機能の向上支援を実践的に学ぶ教育プログラムを開発しました。プログラムは、歯科衛生士や介護福祉士等の教員の専門性を活かしたオムニバス講義・演習(受講者相互での実習)と、キャンパス内の介護施設入所者を対象とした臨地実習を中心に組み立てました。また、地域の歯科医師会や歯科衛生士会、行政機関、介護保険施設との連携により、本プログラム修了者の紹介や派遣を通じて、口腔介護による介護予防の普及を目標とするものです。

3 2009年度 『大学教育・学生支援推進事業・就職支援推進プログラム』

この教育プログラムは、全国の大学等から申請された、各大学等における就職支援体制の強化を図るための取組の中から、文部科学省が達成目標を明確にした効果が見込まれる優れた取組を選定し、広く社会に情報提供するとともに、重点的な財政支援を行うことにより、学生の就職率の向上やキャリア形成の促進を図ることを目的として実施していくものです。さらに、本教育プログラムは、全国465大学の中から、特に優れた“就職支援の取組”として確認された25の『取組優秀大学』の一つに選定されました。



採択された教育テーマ
超高齢社会の就業力向上につながる医療・福祉系学生の就職支援
取組期間 2009年度～2010年度
(補助金額 1,100万円)

取組の趣旨
この取組は、「卒業後に活躍するための就職支援」をテーマに医療・福祉系学生の就職促進と早期離職問題の解決に対応するための就職支援教育事業です。①就職相談専門員による適正や能力に対応した就職支援、②外部有識者や卒業生アドバイザーによるセミナー及びガイダンスの開催、③評価委員会による取組の評価・改善を実施します。これらを通じて、学生自らの就業力(卒業後も、社会人として自立でき、職業人として活躍できるための能力)を向上させるとともに、きめ細やかな支援を行う取組を通して、本学独自の就職支援システムが『取組優秀大学』として評価されました。

4 2010年度 『大学生の就業力育成支援事業』

この教育事業は、全国の大学等から申請された、各大学・短期大学における産業界等との連携による実学的専門教育を含む卒業後の社会的・職業的自立に向けた新たな取組の中から、文部科学省が優れた取組を選定し、国として支援するものです。

採択された教育テーマ
短期大学教育力活用による学際的就业力育成
取組期間 2010年度～2011年度
(補助金額 3,700万円)

取組の趣旨
この取組は、「卒業後の社会的・職業的自立のための多面的な能力(=就業力)の育成」をテーマに、多職種と連携できる幅広い職業人養成に主眼を置き、①本学の専門教育力のみならず、他短期大学の有する短期大学教育力や第一線の実務家の教育力を活かす「学際的就业力」育成をめざすものです。さらに、②キャンパス内高齢者施設(職場)での専門的就业力とともに、汎用的な社会人基礎力の修得支援を目標としており、③入学前および初年次教育から社会的・職業的自立へつながるキャリア形成教育を通じて、学生全員の就業力保証と大学全体の就業力育成教育の「底上げ」をめざしています。この教育事業を通じて、中長期的な i) 内定率の向上、ii) 学生・企業(職場)間のミスマッチ就職の回避、iii) 早期離職率の低減の達成を図ることで、高齢者の生活の質を支える資質の高い人材確保と新たな雇用創出につながる就業力育成支援体制の強化をめざします。

5 2012年度 『産業界のニーズに対応した教育改善・充実体制整備事業』

この教育事業は、産業界のニーズに対応した人材育成を行う大学・短期大学が地域ごとにグループを形成して、地元の企業、経済団体、地域の団体や自治体等と産学協働のための連携会議を設置し、社会的・職業的に自立し産業界のニーズに対応した人材育成の充実に図る優れた取組を国として支援するものです。この度、本学の教育と取組が評価され、福岡医療短期大学と他22大学との計23大学による多大学連携教育事業(幹事校:福岡工業大学)が、文部科学省「産業界のニーズに対応した教育改善・充実体制整備事業」に採択されています。

採択された教育テーマ
地域力を生む自律的職業人育成プロジェクト
取組期間 2012年度～2014年度
(補助金額 2,900万円)

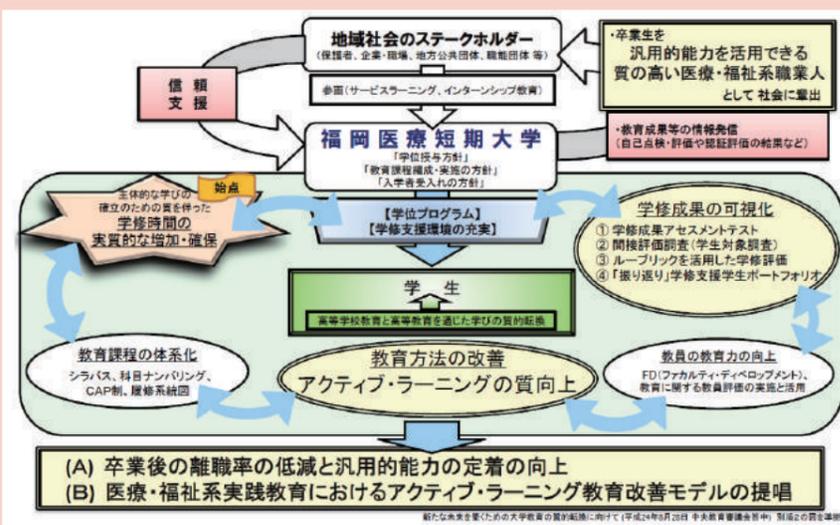
取組の趣旨
本取組は、九州・沖縄及び山口地域において、学生の社会的・職業的自立に向けた産学協働の取組を推進している福岡医療短期大学と他22大学との計23大学による多大学連携教育事業(幹事校:福岡工業大学)として、産業界の人材ニーズを踏まえながら「地域に活力(地域力)をもたらす、主体的に考える力をもった自律的職業人を輩出すること」を全体の目標とし、3つのサブグループに分かれ、「インターンシップの高度化」、「キャリア系科目の授業改善」、「学修評価方法の検討」のテーマに取り組むものです。また、大学グループ23校と産業界8団体をメンバーとした「九州・沖縄連携会議」を設置し、産学協働体制のもと、サブグループからの提案や実施報告に関して産官学による議論と評価を行い、連携校にフィードバックすることで各大学教育の質的向上を図っていきます。

6 2014年度 大学教育再生加速プログラム

このプログラムは、文部科学省が支援する大学改革の取組の一つであり、国として進めるべき大学教育改革を一層推進するため、教育再生実行会議等で示された新たな方向性に合致した先進的な取組を実施する大学を重点的に支援することを目的としています。教育再生実行会議等で提言された国として進める改革の方向性のうち、テーマI(アクティブ・ラーニング)、テーマII(学修成果の可視化)、テーマI・IIの複合型、テーマIII(入試改革)、テーマIII(高大接続)の5つで構成されています。本学の取組は、テーマI(アクティブ・ラーニング)・II(学修成果の可視化)の複合型として申請し採択されました。

採択された教育テーマ
『テーマI(アクティブ・ラーニング)・II(学修成果の可視化)複合型』
取組期間 2014年度～2018年度(予定) H26,27年で(補助金額 4,200万円)
取組の趣旨

この取組は、専門教育におけるアクティブ・ラーニングの充実と汎用的能力の育成、学修成果の可視化による教育改善を推進するものです。①汎用的能力判定テスト、②学修行動等の学生アンケート調査、③産業界のニーズを反映したルーブリックを用いた学修評価、④「振り返り」学修を支援するポートフォリオの取組を通じて、初年次・インターンシップ前・インターンシップ教育における6種類のアクティブ・ラーニング教育改善モデルの提唱と、卒業後に汎用的能力を活用できる優れた人材養成を推進します。



編集後記
今年の冬はエルニーニョ現象などの影響で暖冬になるという気象庁からの予報が出ていたにも拘らず大雪が降ったりして極寒となりました。そんな寒い時期ではありますが、平成27年度最後、また2016年最初のWelfare Campus Newsでは、本学の特色である6つのGP(優れた教育プログラム)について紹介しています。全国でも6つも文科省からGPを採択されるのは高等教育機関として大変名誉なことです。本学が如何にしてこれまで学生教育に熱意を注いできたかをご理解して頂けたら幸いです。
(保健福祉学科・編集委員 F.T.)